

第十六回帝國議會
衆議院

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵收ニ關スル法律案委員會會議錄(筆記)第二回(完)

會議

明治三十五年二月十七日午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

協坂 行三君

橫山 通英君

三田村甚三郎君

高木 正年君

小松 喜平治君

出田 信記君

村瀬 庫次君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官金子 直君

內務書記官井上 友一君

○委員長高木正年君 之ヨリ會議ヲ開カム

○協坂行三君 政府委員ヨリ本案提出ノ説明アリタシ

○政府委員金子直君 沖繩縣ニ於テハ當時土地ノ整理中ナレトモ未ダ整理モ相付カサル故國稅徵收ハ明治二十二年敕令第四十一號ニ依リ舊慣ニ準據シテ徵收スルコトト爲リ居ルモ近來漸ク滯納者ヲ増加スルノ傾向アリ現ニ明治二十九年度ニ於テ五十一萬五千三百四十三圓ニ對シテ七萬四千五百三十一年度ニ於テ五十六萬六千八百二十二圓ニ對シテ十一萬四千六百八十二圓三十一年度ニ於テ六十一萬八千四百九十三圓ニ對シテ二十萬四千六百三十二年度ニ於テ六十一萬八千四百九十三圓ニ對シテ二十三萬八千三百五十七圓三十三年度ニ於テ七十八萬六千六百八十一圓ニ對シテ三十四萬二千二百〇五圓ノ滯納アリテ年々滯納額ノ増加ヲ來シタリ伊豆七島ニ於テモ沖繩縣ノ如クナラサルモ滯納者續々滯納スルモノ多シ故ニ舊慣ニノミ依ルトキハ之等滯納者ヲ處分シ得サル場合モアル故沖繩縣ノ區長間切長若ハ島長及東京府管内伊豆七島ノ名主地役人等ヲシテ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依リ徵收セシムルノ必要ヲ認ムルカ故ニ本案ヲ提出セシ所以ナリ

○協坂行三君 土地ノ整理ハ略ホ完了セシヤ

○政府委員金子直君 然リ大體ハ完了セルモ未ダ土地臺帳地價等ハ完成スルニ至ラス

○協坂行三君 此ノ法案ハ土地整理ノ完了後ニアラサレハ施行スルコトヲ得サルヤ

○政府委員金子直君 然ラス土地整理完了スルトキハ國稅徵收法ヲ施行スルコトヲ得ルナリ唯夫迄ノ所本案ニ依リ滯納者ヲ處分セムトノ旨趣ナリ

○橫山通英君 唯今ノ説明ニ依レハ年々滯納者多キカ此ノ滯納額ハ徵收濟トナリ居ルヤ

○政府委員金子直君 徵收濟トナリ居ラス而シテ其ノ金額ハ唯今ノ所書類ナキ故ニ明確ニ申述ヘ難シ

○委員長高木正年君 市町村費ニ付キテモ滯納處分法ノ行ハレ居ラサルカ故

ニ滯納スル者非常ニ多シ故ニ市町村費ニ付キテモ同様ノ旨趣ニ依リ但書ヲ加ヘテハ滯納者ヲ處分スルコトトシテハ如何

○政府委員金子直君 私ニ於テハ單純ニ御答シ難シ併シ內務省ニ於テ必要ナリトスレハ但書ヲ加フルモ差支ナシ

○政府委員井上友一君 高木君ノ御尋ハ御尤モナレトモ是ハ法律ヲ以テ規定セサルモ敕令ヲ以テ規定シ得ヘキカ故ニ目下之ニ關スル敕令ヲ發布スル積ナリ

○三田村甚三郎君 本案ハ尤モ至當ノモノナリト信スルヲ以テ原案ノ通り可決アラムコトヲ望ム

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○委員長高木正年君 然ラハ滿場一致ヲ以テ原案ノ通可決シタルモノト認ム是ニテ散會セム

于時午後一時五十分

明治三十五年二月十八日印刷

明治三十五年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局